

令和4年4月21日

各 位

(公財) 船橋市文化・スポーツ公社
理事長 山崎 健二
(公印省略)

「20歳のソウル展」開催について（依頼）

陽春の候、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より当公社の事業運営に御理解御協力を賜り御礼申し上げます。

さて、船橋市民ギャラリーでは、船橋市立船橋高等学校吹奏楽部卒業生の青春物語、映画「20歳のソウル」が来る5月27日に公開されることから、これを記念して標記展覧会を開催することになりました。

感動の物語のスチール写真やオフショット写真をはじめ、市立船橋高等学校吹奏楽部の活動の足跡、主人公のモデルとなった浅野大義さん愛用の品、映画撮影で使用した品などを展示し、映画の世界をより深く感じていただける展覧会となるよう準備を進めているところです。

つきましては、趣旨を御理解いただき、一人でも多くの方が御観覧くださいますよう、皆様への周知につきまして御協力のほどお願い申し上げます。

記

1 送付物

「20歳のソウル展」 ポスター及びちらし

2 展覧会会期

令和4年5月24日（火）～6月5日（日）

午前10時～午後6時

3 会場

船橋市民ギャラリー

船橋市本町2-1-1 船橋スクエア21ビル3階

（お問い合わせ）

船橋市民ギャラリー

電話 047-420-2111

俺の音楽は生き続ける

20歳のソウル

はたち



神尾楓珠

尾野真千子 福本莉子 佐野晶哉

前田航基 若林時英 佐藤美咲 宮部のぞみ 松大航也

塙寛之 菅原永二 池田朱那 石崎なつみ

平泉成 石黒賢(友情出演) / 高橋克典

佐藤浩市

原作：中井由梨子 「20歳のソウル 空缺の告別式、一日だけのプラスバンド」(小学館刊) 「20歳のソウル」(幻冬舎文庫)

企画・監督：秋山義一 脚本：中井由梨子

主題歌：Kenta Dedachi「Jasmine」 作詞：Kenta Dedachi 作曲：浅野大義 / KOSEN / Kenta Dedachi EPIC/コーエンジャパン

エグゼクティブプロデューサー：福井翠華、福田桂樹 プロデューサー：高木健司、柳川洋介、鈴木尚貴、河野泰輔、内田洋次、吉村洋一、伊藤洋介、高橋洋一、鈴木尚貴、吉村洋一、山田洋次
小道具：島田麻子代、スタイリスト：松尾早苗、ヘメイク：田中麻倫、松本正太、制作：船越好太郎、スクール：高橋麻奈、音楽アドバイザー：星野源治、音楽監修：星野源治、音楽アシスタント：星野源治、撮影：星野源治、美術：星野源治、サウンド：星野源治、脚本：吉川亮二、音楽：高橋信典、等賀恵子
監修：升屋株式会社、株式会社OVCエンタ、株式会社セガ草体、後援：東京駅構造美術館、千葉県教育委員会、JACCO
製作：新日映画社、日本映画出版社、ねじまわし baym78 US+Kai TCヨーロッパ・インバウンド グランピア DOKUSO映像館、東京アートル デザイン・スタイル、AFM文化アート for the future!プロジェクト・プロジェクト・JACCO
製作委員会：AFM文化アート for the future!プロジェクト・プロジェクト・JACCO ©2022「20歳のソウル」製作委員会

絆が紡いだ、希望と感動の実話。



5.27 FRI
ROADSHOW

今届けたい、音楽が育んだ感動の青春物語——。

INTRODUCTION

千葉県船橋市立船橋高校の応援曲「市船soul」。甲子園出場をかけた球児たちの背中を押すチャンステーマとして代々受け継がれています。作曲したのは当時吹奏楽部3年生だった浅野大義さん。音楽と仲間を愛し、家族と恋人を想い、夢に心躍らせた青年の命は、がんのため、たった20年という短さで幕を閉じました。告別式には吹奏楽部の仲間164人が集まり「市船soul」を演奏。呼びかけたのは大義さんの恩師である顧問の高橋健一先生でした。

「大義の魂に、演奏を聞いてもらおう」この奇跡の実話を5年に渡り取材した原作を元に、関係者の多大な協力で脚本が完成。実在の市船で現役吹部生が出演するというアリティ溢れる映画化が実現しました。大義さんを演じるのは今、最注目の神尾楓珠。高橋健一先生役に佐藤浩市。母親役に尾野真千子と、珠玉のキャスティングが脇を固めます。短い清々しく生涯を生き切った大義さんの姿は、命ある一日の大切さを教えてくれます。これは、希望の物語です。



浅野大義（神尾楓珠）は市立船橋高校吹奏楽部に所属する男の子。担当はトロンボーン。活発で優しく、そして真っすぐな大義は、いつも周囲を明るく照らし、そして大義自身も部員たちに支えられ、青春を謳歌していた。なにより特別な存在である顧問・高橋健一先生（佐藤浩市）に大きな影響を受け、心身共に成長していった。大義は、市船・野球部のために、オリジナル応援曲の作曲に挑戦。作曲の難しさに葛藤しながらも高橋先生からの叱咤激励や親友・佐伯斗真（佐野晶哉

）の助け、母・桂子（尾野真千子）の応援もあり「市船soul」が誕生する。そして、いざ試合で演奏されるとたちまち得点を呼ぶ「神応援曲」と呼ばれる様になる。高校を卒業した大義は、高橋先生の様な教師を志し音楽大学へ進学、夢に向かってキャンバスライフを過ごしていた。そんなある日、大義の身体を異変が襲う。診察の結果、大義の身体は癌に侵されていた——。

STORY



「Jasmine」Kenta Dedachi (EPICレコードジャパン)
作詞: Kenta Dedachi 作曲: 浅野大義 / KOSEN / Kenta Dedachi

BOOKS
「20歳のソウル」(幻冬舎文庫)
「20歳のソウル 奇跡の告別式、一日だけのプラスバンド」(小学館刊)
中井由梨子 著

ここだけの

20歳のソウル展 映画との二重奏

入場
無料

5.24 TUE ~ 6.5 SUN
船橋市民ギャラリー

午前10時～
午後6時まで

TEL: 047-420-2111
船橋市本町 2-1-1
船橋スクエア21ビル3階



詳細はこち